

## 高温が続いています。今後の管理に注意！

梅雨明け以降、高温が続いています。今後も、高温継続が予想され、白未熟粒や胴割粒の発生が懸念されます。被害を最小限に抑えるため、下記の対策を徹底しましょう。

### 1. 水管理の徹底！

出穂期以降は、稲が最も水を必要とする時期です。この時期に水が切れると白未熟粒や胴割粒の発生が多くなります。

出穂前後各3週間は、品質向上とカドミウム吸収抑制対策のため湛水管理を行いましょ。う。

こまめな水管理に努め、収穫作業に支障のない範囲で、出来る限り遅くまで入水しましょ。う。

### 2. 追肥を施用し、稲の栄養維持！

これから出穂期を迎える中生以降の品種は、高温により稲の栄養が不足し、登熟が阻害され白未熟粒の発生が懸念されます。稲の栄養維持のため、追肥を施用しましょ。う。

- 追肥の施用時期は出穂期から穂ぞろい期です。
- 追肥量の基準は窒素成分で2kg/10aです。
- 施用量が多いと玄米タンパク質含有率が高まるため、食味の低下が心配されます。基準量以下の施用としてください。
- 「環境こだわり」栽培では、認証の対象外になることがあるのでJAまたは普及指導センターへ相談の上施肥を行ってください。  
(栽培基準：化学肥料の窒素成分総量4kg/10a以下)
- 現在、葉色の濃いほ場では、必要ありません。

農作業は、日中の気温の高い時間帯を避けましょ。う。  
こまめな塩分・水分補給や休憩を行い、熱中症対策を行いましょ。う！